



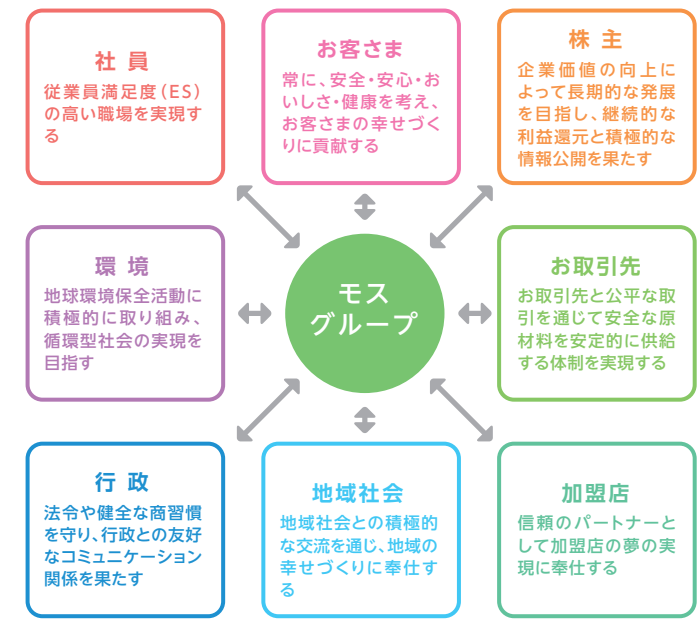
コーポレート・ガバナンス

すべてのステークホルダーの期待に応えるべく、CSR経営を目指して
会社組織や経営体制を整備し、必要な施策の実行に向けて努力を怠らないことが、
コーポレート・ガバナンスにおけるモスの「約束」です。

倫理憲章・ モスグループ企業行動基準

モスグループでは、事業活動における普遍的価値を「倫理憲章」として定めています。この「倫理憲章」はお客様と社会に対する約束です。モスグループで働く一人ひとりが「倫理憲章」を正しく認識し、その精神と理念を誠実に実行することを目指しています。また実現へ向けて取るべき行動を「モスグループ企業行動基準」に定め、スタッフ全員が主体的に職場や仕事の問題に気づき、疑問を放置することなく、未然防止と早期解決につながるために日々努力を積み重ねていくことが、CSR経営にとって重要であると考えています。

ステークホルダーへの基本方針

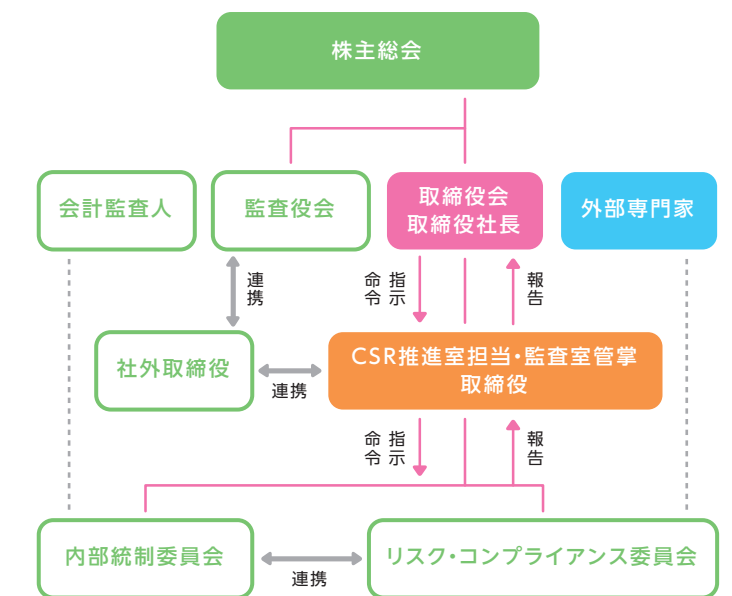


Web

リスクマネジメント・ コンプライアンス推進体制

CSR推進室を担当及び監査室を管掌する取締役を内部統制及びリスクマネジメント・コンプライアンスの統括責任者としており、社外取締役及び監査役と連携することで業務執行に関する監査機能を強化しています。全社的な内部統制システムの整備、そして「リスク・コンプライアンス委員会」を設置して、CSR推進室長を委員長、リスク・コンプライアンスに関わる部門の責任者を委員として日々モニタリングを行い、リスク並びにクライシスのマネジメント及びコンプライアンス体制を推進しています。

リスクマネジメント・コンプライアンス推進体制

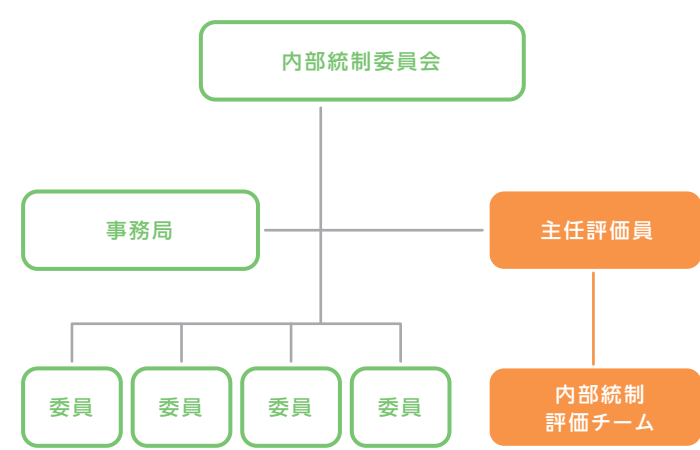


Web

内部統制システム

モスグループでは、「会社法」及び「金融商品取引法」で定める内部統制システムを構築しています。財務報告に係る内部統制システムを効率的に整備し、適正に運用するために「内部統制委員会」を設置。委員は株式会社モスフードサービスの内部統制の実務的役割を担う部門の責任者によって構成されています。そして内部統制委員会の委員長から指示された評価チームが、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を識別し、その要点について整備及び運用状況を評価することで、内部統制の有効性に関する評価を行っています。これらを通じて、モスグループの健全な統制環境の構築・維持に努めています。

財務報告に係る内部統制システム



Web

モス版BC (事業継続)

BCP (事業継続計画) 及びBCM (事業継続管理) については「モス版BC」を策定、東日本大震災以降はあらゆるリスク・クライシスを鑑みて都度見直しを行っています。またコンピューターシステムを補完して、本部機能が停止するような首都直下型地震が発生した場合でも店舗が営業を継続できるように、食食材配送を整備しています。スタッフの安否及び店舗の被災状況を確認する応答訓練も実施しており、2015年度は「防災・減災訓練」「地震・津波避難訓練」を通してチェーン全体で災害に対する意識向上を図りました。あわせて毎月5日を「モス安全点検の日」とし、店舗設備の正常な稼働などを自主点検して安全・安心な店舗運営に努めています。



本社で実施した
防災・減災訓練



店舗で実施した
地震・津波避難訓練